



障がいを持つ人の くらしと住まいセミナー



厚生労働省が5年1度実施している「生活のしづらさなどに関する調査」(令和4年)によると、障がい者の総数は1,164万人で国民のおよそ9.3%が何らかの障がいを持ち、1,116万人の障がいを持つ人が在宅でくらししているというデータが示されました。色々な障がいを持つ人がどのような生活のしづらさを感じておられるかを共有しながら、その解決方法を専門家と共に一緒に探っていく参加型のセミナーです。障がいを持つ方のお悩み解決のための個別相談会も実施します。セミナーには障がいのあるなしに関わらず、住まいやくらしにご興味のある方はどなたでもお気軽にお越し下さい。



第5回 車いすユーザーと考えるくらしの工夫 ～私なりの快適な生活とは～

日時：令和8年9月26日(土) **参加費無料**

14:00 ~ 16:00 個別相談 ~16:30

場所：神戸市立総合福祉センター 4階エレベーター前「つばき」

湊川神社西側 高速神戸徒歩3分

主催：一般社団法人ヒューマンライフデザイン



会場地図

公認心理師・兵庫県 福祉のまちづくりアドバイザー

石田 真愛氏 腰髄損傷 障害者手帳第1種2級

私は19歳の時に高い所から落ち、腰の骨を折ったことで車いすユーザーになりました。屋外では車いすでの移動をしていますが、室内では家具や手すりをもつことで、不安定ですが車いすを使わずに歩くこともできます。車いすに乗って街に出てみると、1人ではできないこともあります。社会って意外と優しいなど感じられることも多いです。社会には、元気な人も病気の人も赤ちゃんもお年寄りもいます。お互いが、お互いの環境を知り合うことだけで、それぞれの“気づき”があるはず。お互いのことを思いやれる社会こそが、優しい社会を作るための第一歩になるのではないのでしょうか。

申し込み：ヒューマンライフデザイン 担当 朝尾
TEL:090-3709-5796 FAX:078-386-3433

メールアドレス：asao@hld.works

*配慮を必要とされる方は事前にお聞かせ下さい



ホームページ